



大樹のこころ

命を守るために

子供たちの命を守る。これは学校現場で一番大切にしなければならないことです。現在、本校は校舎の改修工事中。危険な箇所には施工業者の方が立ち安全を確保してくれています。それ以外も安全管理が必要なことがあります。例えば登下校での交通安全です。特に1年生は、小学校に入学して初めて自分で歩くことになります。園時代には保護者の管理下でしたが、自分で自分の身を守らなければなりません。大樹寺小学校は、毎年この時期に「1年生の交通教室」を実施しています。

本日、その交通教室が実施されました。来校された指導員さんは7名。学校前の信号のある横断歩道と信号のない横断歩道を渡る練習をします。簡単なような気がしますが「1年生の目線」に立つと、道路には危険がいっぱいです。歩行者用の白線ぎりぎりを走る車。横断歩道前で子供が待っているにも関わらず、停車をしないで通過する車。きょうきょうしながら歩く子供たち。交通教室で多くの大人が見守る中でしたが、ちょっと心配になることもありました。今日の学びを生かして、安全に登下校をしてほしいと思いました。

学校の安全を守る取組は交通安全だけではなくありません。近年は食物アレルギーへの対応も重要視されるようになってきています。先週の木曜日には、教職員を対象に「エピペン講習会」と「AED講習会」が実施されました。エピペンはご存知の通り、食物アレルギーの副反応が生じた際に、症状を緩和するための緊急薬です。エピペンを持つ子が、もしもの時に教員が的確に処置を施すことができるための講習です。もう一つのAED講習会も大切です。水泳の授業が始まる前に、実施するように位置付けています。毎年行っている講習会ですが、1年経つと記憶も朧気。この講習会で再確認をしています。

子供たちの命を守るために、地域の方も私たち教職員も真剣です。保護者の皆様にも、安全な学校づくりに向けて下校時の見守りなど、力を貸していただければと思っています。よろしくお願いします。



校庭には外遊びする子でいっぱい。先生も一緒に遊びます

学校には担任の先生以外に、教科を専門に教えてくれる先生がいます。現在本校には、音楽専科教諭、体育専科教諭、少人数授業対応教諭がいます。主に高学年で担任の先生に代わり、専門の授業を担ってくれています。より専門性の高い学びを実現することにつながっています。「授業で学校を創る」ことを目指している大樹寺小学校。授業の充実に向けて人的な配置も進んでいます。

